



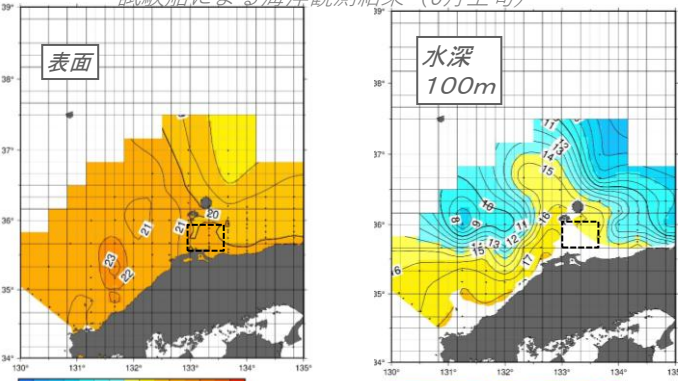
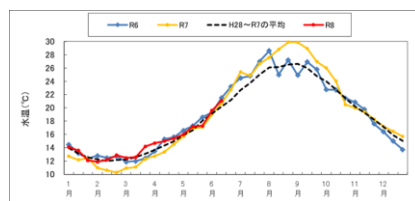
鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽

(電話:0858-34-3321)

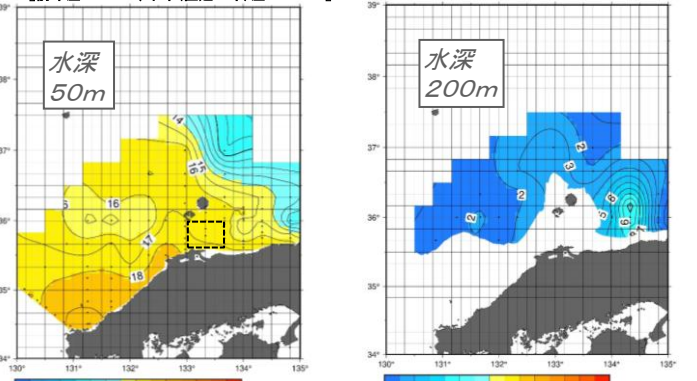
6月中旬 21.1℃

平年より 0.9℃高め



隠岐海峡と鳥取県沖(点線範囲内)の平均水温は19.9℃を示しています。
【前年差: +2.29℃、平年(直近30年)差: +0.88℃】

平均水温は15.3℃を示しています。
【前年差: +2.08℃、平年(直近30年)差: +0.34℃】



平均水温は16.9℃を示しています。
【前年差: +0.96℃、平年(直近30年)差: +0.66℃】

鳥取県東部沖には10℃以上を示す暖水域が小規模で確認されました。

水産試験場

境漁港でまき網によるクロマグロの水揚げが始まりました！

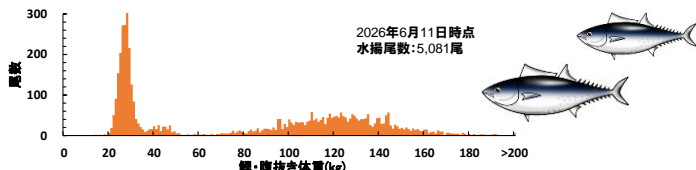


○境港では、連日、まき網によるクロマグロの水揚げがされています。
○今漁期の初水揚げは、5月20日でした。初水揚げが最も早かった昨漁期(5月14日)に続き、過去(昭和57年以降)2番目に早い初水揚げでした。
○水揚げは順調に行われ、今漁期も後半に差し掛かっています(6/18時点の総水揚げ量約600トン)



○水産試験場では、クロマグロの資源状況を調べるため、市場で体や卵の大きさなどの測定を行っています。
○サイズについて見ると、6月11日時点の平均体重は、79kgと昨漁期と同程度になっており、80～120kgの中型から大型個体だけでなく、30kg前後の小型個体も確認されています。

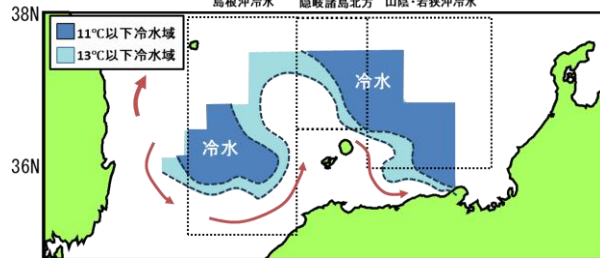
★漁期後半もご期待ください！



| 期間 | 平均体重 (kg) |
|-------------------|-----------|
| 2025 (R7) 全漁期 | 76.9 |
| 2026 (R8) ※6/11時点 | 79.0 |



6月上旬の水塊配置と対馬暖流



| | |
|------------|--|
| 鳥根沖冷水域 | 11℃以下の冷水域はN35°40'以北に認められ、平年(直近10年)並みでした。 |
| 隠岐諸島北方の冷水域 | 11℃以下の冷水域は、N36°30'以北に認められました。 |
| 山陰・若狭沖冷水域 | 11℃以下の冷水域はN35°45'以北に認められ、平年と比べ、かなり沿岸傾向でした。 |
| 対馬暖流の流路 | 鳥取県沖では、主流の一部が冷水域に沿い隠岐諸島東側から沿岸に向かって流れると考えられます。山陰・若狭沖冷水域の沿岸に伴い、流路は平年よりも沿岸に近いと考えられます。 |

水産振興課・漁業調整課

遊漁船における白いか操業(夜間)の鳥取県試行ルールについて

白いか操業(夜間)の鳥取県試行ルール

遊漁船、プレジャーボートが多く出船する白いかの時期には、鳥取県沖に300隻近い船舶が密集することもあり、漁業者からは、「船間距離が近い」、「アンカー使用方法等のルールがない」、「灯火の影響の懸念」等、多くの意見が挙がっています。

特に、遊漁船等が早い時間から地先漁場を占拠することで、週末などは「白いか漁を行う場所がない」といった声が年々大きくなっていました。そこで、遊漁船の白いか操業のルールとマナー向上を検討すべく、今年度、県が試行ルールを策定しました(右を参照のこと)。
このルールを今シーズンは、全遊漁船の白いか操業に試行していただき、シーズン終了後、ルールの内容等について、遊漁船業者と協議する場を設けることとしています。
(担当: 漁業調整課 太田)

- 出漁時間(乗船場所から離岸)は午後4時30分以降とする。
ただし、美保湾・中海エリアにおいては、振栗海域が15マイル(約27.8キロメートル)以上離れている場合は、1時間早く出漁することができます。
- 各港の防波堤灯台から5マイル(約9.3キロメートル)を超えた「地先外」での投錨は午後5時30分以降とする(兵庫県、鳥根県沖も同様)。
なお、赤崎においては、地先で操業する場合は、遊漁船の出漁時間を午後6時としていることを御配慮ください(午後6時30分以降の投錨等)。
※日中の漁釣りからのリレ操業で白いか操業を行う場合は全て海域において午後5時30分以降の投錨とする(赤崎では上記参照)。
- 操業する際の船間距離の目安は下記とし、これより近づく場合は、船間で連絡を取り合うこととする。
アンカー: 0.5マイル以上、
出山川以東及び船間距離が取れない状況では0.25マイル以上
※船間距離が短い場合は走錨しないようアンカーロープの長さ等に注意。
パラシュートアンカー(シーアンカー): 1.0マイル以上
- 灯火は、漁業者の操業ルールを順守するよう努める。
【LED換装】
6灯: LED12LW
9灯: LED18LW
- 安全装置の業務用無線設備、非常用位置等発信装置の電源は切らない。
(参考) 27MHz (1W) 漁業無線 漁業波 2788.4kHz (チャンネル614)
- 航海灯が見えない等の支障があるため、漁魚灯を点けたまま航行しない。

栽培漁業センター

キジハタ放流効果の検証

鳥取県ではキジハタの行動生態や放流効果の把握するため、標識放流を実施してきました。標識には鰭の抜去・切除(標識①、②)によるものやチューブ型タグ等の外部標識(標識③)によるものがあります。

今年度は、6月11日に津浜支所の漁業者の方が外部標識を施されたキジハタ(全長45cm)を漁獲しました。この個体は、天然成魚の行動生態を調査するため平成26～27年の間に釣獲後、再放流されたものと推定されます。再放流から約10年間、本県沿岸域に留まっていたと考えられ、本種の定住性の高さが伺えます。

標識個体は海域での行動や放流効果の検証において非常に重要であるため、見かけた際は当センターまでお知らせください。



共和水産株式会社
代表取締役 橋津 寛
〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX:0859-42-6530

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町92番地1 7684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

令和8年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。